

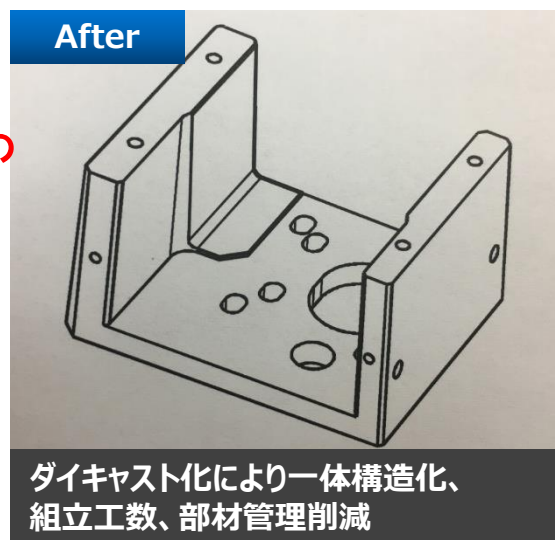
# 切削＋組立 → ダイキャスト化により一発で完成品に！ 大幅なコストダウンを実現した合理化提案事例

今回は切削品からダイキャストへの合理化提案事例をご紹介します。下のBeforeの写真は、切削品3点を組み立てて製作するユニット部品です。部品3点を切削で仕上げ、鋳螺類複数の組み付けを行なうため、製作工数に加えて部材管理が必要なためコストアップの要因となっていました。そこでAfterの図のように、ダイキャストによって一体構造化を図ることによって、組立工数、部材管理削減に繋がりコストダウンを図ることができます。複合組立品のダイキャスト化によるVA・VE提案のことは太陽パーツへお気軽にご相談ください。



切削品3点、鋳螺類複数の組付け、部材管理が必要

切削品から  
ダイキャストへの  
合理化！



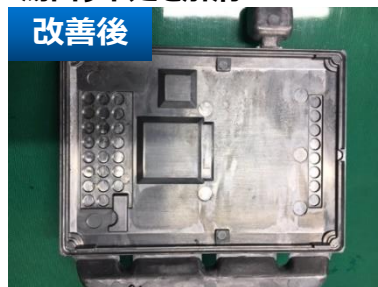
ダイキャスト化により一体構造化、組立工数、部材管理削減

## ダイキャスト素材の工夫で二次加工費を大幅削減！ 削り代を設けることで、トータルコストダウンを実現

次は、ダイキャスト製品の設計におけるコストダウンのポイントをご紹介します。これまでは、改善前の写真のように赤枠部の穴が多い部分は湯流れが悪いため二次加工が必要でした。それへの対策として「改善後」のように、一面削り代を設けて铸造することで、湯回り不足を解消した上に、铸造後に一面を薄く削るだけで穴形状を出すことが可能となりました。このように設計を行うと、二次加工費を削減し、部品のコストダウンを図ることができます。



削り代を設けて铸造  
湯回り不足を解消



ポイント

- ・一面削り代を設けて铸造し湯回り不足を解消
- ・铸造後、一面を削り形状を出せば、二次加工費を削減